

なばり市議会だより

no. 55

平成22年1月
発行 ■ 名張市議会

● 議会広報特別委員会 ● 三重県名張市鴻之台 1-1 ● 電話 63-7834~5 FAX 64-8870 ● gikai@city.nabari.mie.jp



平成21年12月定例会

一般会計補正予算など15議案を可決

12月定例会(第337回)は、12月2日開会、18日閉会の17日間、の日程で行われた。提出された議案は、平成21年度

一般会計、住宅新築資金等貸付事業など5特別会計と2企業会計の8補正予算議案。名張市保育所条例など条例の一部改正2議案。名張市総合計画後期基本計画の策定、財産(消防ポンプ自動車)の取得、人事案件(教育委員会委員の任命)の各1議案。議員提出議案2議案などの全15議案。

このうち、議員提出議案は、電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書」と、「緊急経済・雇用対策の早期実施を求める意見書」である。

請願の審査は2議案で、「小規模修繕等契約希望者登録制度のよりよい活用」と「住宅リフォーム助成金制度創設」である。

本会議および常任委員会それぞれ慎重に審議した結果、請願2議案は不採択、その他の議案はすべて原案どおり可決した。

一般質問は、9議員が行い、市政全般にわたり当局の考えをたじた。

補正予算

今回の一般会計補正予算額は、6億7400万円の増額補正で、平成21年度補正後の予算は、254億1100万円となった。

歳出の主なもの、人件費や扶助費の精査のほか、国の緊急雇用創出事業や、台風18号による災害復旧事業費などの増額補正、消防庁舎および防災拠点施設事業の入札結果による請負差金や、地域防災無線設備整備事業の整備手法の見直しによる減額補正などである。

歳入の主なもの、国・県支出金など歳入に見合う所要額の計上のほか、退職手当債や土木・農林災害復旧費債の市債の追加など。

特別会計の補正予算額は、全5会計合わせて、4100万円の増額補正で152億3800万円となった。主なもの、各会計の人件費の精査など。

病院・水道の2企業会計も、人件費の精査など。補正予算質疑は、7議員が行い

熱心な議論を展開した。

臨時会

第336回臨時会は、11月24日に行われた。

提出された議案は、専決処分をした台風18号の災害復旧費の補正予算の承認のほか、職員給与に関する条例等の一部改定と、市長および副市長の給料等に関する条例の一部の改定、議員提出議案として議員報酬条例の一部の改定である。

職員の給与に関する条例の一部改定では、平成21年12月の期末・勤勉手当を0.15ヵ月分の引き下げを含む人事院勧告に基づく給与改定と、職員給与の独自削減の見直しを賛成多数で可決した。

市長および副市長の12月期末手当を0.15ヵ月分の引き下げについては、全員異議なく可決した。

議員提出議案、議員の12月期末手当を0.1ヵ月分引き下げについても全員異議なく可決した。

ごあいさつ



あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃から名張市議会に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼と感謝を申し上げます。

昨今、国の政権が交代するなど大きな時代の変化の中で、地方議会の果たす役割は、ますます重要なものとなっています。

私ども名張市議会では、市民にわかりやすい開かれた議会を目指して改革に取り組みました。市民の生活をより一層豊かで潤いのあるものにしていくためにも、この議会改革をさらに前進させ、市民のために考え、市民のためにももの言える名張市議会として、自己変革に努めていかなければと考えています。

今後とも、市民の皆様のご支援をお願い申し上げますとともに、ご多幸を心からお祈りいたします。

名張市議会議長
藤島 幸子

一般質問

質問は議員から提出された原文を尊重し、編集して掲載しています。

「清風クラブ」福田博行 市長の心中を聞く

答弁 しかるべき時に

Q 名張市の今後を考えると要素になる。平成22年は、選挙の年と言っても過言ではない。4月の市長選挙および8月の市議会議員選挙の結果は、まちづくりに大きな影響がある。市長選まで4ヶ月を切った。市長の心中とマニフェストに対する自己評価を聞く。

A 残された任期を、改革の全力で取り組む。今後の方向については熟慮中。しかるべき時に表明する。マニフェストの評価は市民にしていただが、おおむね及第点と考える。

近大高専誘致は

答弁 官民一丸の取組み

Q 皇學館大学が、平成23年3月をもって撤退する。跡地を廃墟にしてはならない。近大高専誘致を絶対に成功させなければならぬ。姫路市という強力なライバルがある。現在の交渉状況は。新たな財政出動をしないと明言しているが、皇學館大学が負担する原状回復費2億3千万円を活用すべきだ。



台風18号の被害

「心風会」永岡 禎 市が生き残るために

答弁 考えを示してきた

Q 市長は就任以来、学校教育・育・環境施策について考えを示さず、担当者に任せきりで何もしてこなかった。校区再編問題は、市長の考えを市民にしっかりと示し、進めるべきだ。市の施策の遅れで、約55%を占める森林が荒廃し、先般の台風18号でも被害が拡大した。

A 就任以来、学校教育・環境施策については、他の施策と同様に取り組んで来ている。校区再編問題は、教育委員会と十分に検討を重ね進めていく。環境を考えた森林などの施策については、国の補助施策等を研究し、活用していきたい。

A 土地・建物を有効利用しない、戻ってきたことにならない。名張商工会議所、八幡工業団地管理組合などから要望書を出した。官民一丸となって取り組んでいる。隣接する市有地の有効利用などを提案しており、財政出動は考えていない。

失敗をどうする

答弁 失敗と考えていない

Q 市長の急ぎすぎた施策の中、斎場問題の円満解決は、まちなか再生委員会からの撤退は、市長が施策を急ぎすぎて失敗したのではないかと。

A 斎場問題については、現在行われている裁判を見守りたい。合意解約・円満解決については、今でもそのつもりだ。まちなか再生委員会からの撤退は、いろいろな事情があり、決断した。今後は、名張地区まちづくり推進協議会に地域ビジョンの策定をゆだね、まちなか再生と整合性をもたせ、事業を進めていく。

「民主クラブ」川合 滋 陳情行動はどうする

答弁 各政党に陳情

Q 8月の総選挙で政権が変わった。国庫支出金の状況により市政運営に大いに影響する。新政権に対し市長はどのように要望していくのか。市長は、自民党にスタンスを置いているが、現政権は民主党だ。民主党の陳情窓口は、地方議員を通じ、県連地域戦略局だ。どのように対処するのか。

A 市長選挙をかんがみ、平成22年度当初予算は骨格予算とする。政権が変わり国庫支出金のあり方が変わると認識している。交付税も一括交付になり各自治体の政策は独自性が重要だ。陳情行動は、各政党にバランスよく平等に陳情していく。民主党のルールは承知している。

消防団再編計画

答弁 検討委員会を審議中

Q 出初式・夏期訓練などの団員出勤数や活動状況を見ていると団員確保に苦慮しているようだ。地域での団活動が標準化していない。女性団員の登用など団活性化に取り組んでいるようだが、市民の安心・安全のためにも住宅地での団員確保・女性団員の増員などを求める。消防団組織においては、各地域づくり委員会ごとの分団編成に、再編すべきだ。

A 現在500人定員に対し、39人欠員。定数確保に努めたい。今後、女性団員の役割や新興住宅地の団員など、組織のあり方も含め考えていく必要がある。名張市消防団では、消防団組織改編検討委員会が検討している。



アンシンダー

域住民より要望、要請があった。行政として交渉経過を関係地域へ回答してきたか。

A 松原地区で河床掘削や拡幅工事を。夏秋地区では築堤により安全を確保。河川改修は木津川上流直轄改修促進期成同盟会と連携し、整備計画が策定された。今後は事業推進に向け強く要望していく。

「自由クラブ」田合 豪 下水道の公共移管

答弁 周知の方法検討

Q 桔梗が丘第二処理場などのコミュニティプラントの公共移管は平成23年に行われるが、住民に周知する方法を考えると、現在毎月定額の料金だ。ほとんどの家庭が移管とともに料金がかかる。一般的な考えだが、契約会社と料金体系が共に変わる時は、再度契約をする事が普通だ。下水道未整備地域や農業集落排水では、各家庭の承諾を得ている。通帳の引き落としの金額を見て、上がったと言われろことのないようにしろ。

A 現在は、事前の説明会と料金などの内容を郵送で各家庭に送付し、理解を求めている。住民の理解を得た上での移管ができるように方法を検討する。



コミュニティプラント

「希望クラブ」高田 稔嗣 台風の検証について

答弁 要望してきた

Q 伊勢湾台風より50年。今回の18号台風は、3ダムは、危険と感ぜられる河川環境は無いのか。河床掘削・流下環境の整備・無堤防状況の解消・浄化センター建設に伴う対岸の築堤整備や堤防強度の確認など、流域の地

A 補助金制度は、中山間地はもとより平地部まで多くの農家に利用されているが、現場の要望に充分対応できていない点もあるため、22年度以降、実態に合うような実施に向け見直しをする。

「希望クラブ」高田 稔嗣 税金の軽減など

答弁 自助・共助の名のもと

Q 本来税金で行うべき公共サービスが、無償ボランティアで住民が行っている。受益の部分を住民の負担で行うなら、負担の軽減、つまり市税を安くするなど住民の負担を軽減することを考える。新しい公と言っているが、住民にはゴールが見えない。ゴールを示さないと、新しい公の実現などない。

A 4月から担当部と14地域の担当職員を配備した。税の軽減など市民に分かりやすい目標設定をするように努める。

公明党 石井 政

就学前教育の無償化

答弁 市の負担は断念

Q 就学前教育の無償化を目指した「子育て応援特別手当」は、新政権が一方的に執行停止した。市は、6月定例会で議決している。地方が議決した議案を、説明も議論もせず、執行停止することは許されるものではない。日本のGDP(国内総生産)に占める教育費の割合はOECD(経済協力開発機構)の中で極めて低い。特に、幼児教育の予算が低いと指摘されている。就学前教育の無償化を図るべきだ。

A 政権交代とは、こういうものかと考える。子育て応援特別手当を市で負担できる財政状況でない。減額補正で対応せざるを得ない。新政権の目玉である子ども手当の財源がどうなるか、国の動向を注視していく。

化学物質過敏症対策

答弁 理解と協力を啓発

Q 化学物質過敏症とは、農薬・除草剤など、微量化学物質に反応して苦しむ症状だ。重症になると、通常の生活ができない極めて深刻な「環境病」だ。しかし、農薬・除草剤などを使用する本人が何の影響も受けないため、過敏症状を訴える人の理解ができないのが問題だ。住宅街で使用するときは特段の配慮が必要。時には、除草剤を控えるなどの啓発を求める。

A 化学物質過敏症の発症者は全国で70万人、子どもを含めると100万人と推計されている。市で、化学物質などの使用に当たっては適正な基準を遵守するよう規制はあるが、使用禁止していない。今後は、化学物質過敏症に対する理解と配慮への啓発を行う。

日本共産党 橋本 マサ子

答弁 国県の動向をみて

Q 長引く不況が市内事業者の経営を圧迫している。市民が市内の事業者に限ってリフォームを発注した時、市が少しの助成をすることで受注が増え、地域経済の活性化を促進している例がある。自治体が、公共工事・委託事業を民間業者に発注する場合、その事業に働く労働者の賃金を、適切に確保させる必要がある。公契約条例を制定し、下請けなどの賃金が保証される労働環境を築くことが緊急課題だ。

A リフォーム助成については、現在耐震診断を実施しており、国や県の状態をみながら検討する。公契約制度は、社会的状況を精査する必要がある、国に働きかけていく。

冷たい制度は即廃止

答弁 引き上げ幅まだ不明

Q 後期高齢者医療制度は、生活が苦しくても、生活保護受給者以外の全員に保険料が課せられている。保険料は後期高齢者の医療費と人口の増加に連動して2年ごとに上がる。1日でも長く続けば、それだけ被害を拡げることになり、日本共産党は「このような制度は即廃止を」と求める。

A 国の、大幅な引上げを避けるため、基金や剰余金をあてる事を指導してきている。現在はまだ明確な数字は出ていない。

公明党 吉住 美智子

答弁 質とサービスの向上

Q 近年、社会の構造が変わる中、女性の社会進出や就労形態の変化などで保育所のニーズは年々増加している。定員を大幅に上回る園児を保育している状況であり、子どもたちに最良の保育環境を提供すべきだ。市は、平成22年度から3年間で12園の保育所を民営化する計画だ。民営化の効果を問う。

A 保育所民営化は、保育の質とサービスの向上を図るためだ。直営方式では市の負担額も大きく今後、保育料の値上げに繋がる。現在実施している事業仕分けの効果が出る平成25年度から、保育所民営化の効果は子育て支援の施策として還元できるよう検討する。

ハートプラスマーク

答弁 普及啓発に努める

Q 体の内部、心臓・呼吸器・腎臓・膀胱直腸・小腸の機能障害と、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害の六つが内部障害と称される。外見的に健康者と変わらず福祉サービスを利用すると誤解されることもある。内部障がい者に対する理解の輪を広げる「ハート・プラスマーク」がある。周囲の人の配慮で内部に疾患を持った人が安心して生活できるように検討すべきだ。

A 人は、平成21年4月1日現在で672人いる。周囲の理解を得るためマークの掲示は有効だと考える。「ハート・プラスマーク」を使用希望者に、窓口での配布を検討する。市民の理解を得るため今後は啓発に努める。



ハート・プラスマーク

内部障害者に理解を求める

「自由クラン」中川 敬三

医療体制の構築を

答弁 機能分担を行う

Q 輪番体制による救急医療では、空白日ができることもありえる状況だ。名張、伊賀両市長が合意した拠点病院とは、三次救急医療機関を目指すものか。それまでの間、両市の2病院で機能分担を図るといって、うまくいくのか。夜を通しての一次救急医療の整備を、待ったなしで図るべきだ。

A 5〜10年以内に整備する拠点病院は二次救急医療だ。輪番体制を見直し、両市の2病院で急性期と慢性期の医療の機能分担を行うことも合意している。そのため両市の2病院は、経営統合を図る。夜通しの一次救急医療については、医師の高齢化や医師数の不足などから、応急診療所で行うのは無理だ。

「小児医療の空白時間」

浦崎 陽介

「その他の質問」

Q 伊賀市との輪番体制が平成22年から中止すると聞いているが、名張市内の開業医は大半が木曜日は休診だ。応急診が開く午後8時までの一次か二次から少ない小児はどうしたらいいか。市は診察不可能な空白時間を確認できているのか。市長は医療体制を自分の身に置き換えて考える。一次医療体制の充実を望む。

A 午後1時〜3時は確認している。開設している開業医で診察するのが原則だ。当然自分の身に置き換えて考えている。

細矢 一宏

「感染症の危機管理」

Q 新型インフルエンザの流行により、市内の小中学校では、学級・学年・学校閉鎖が続いている。児童・生徒の健康をまもり義務教育課程を保障するために、ワクチンの助成・集団接種を検討する段階にきていると考え。今後の感染症における危機管理体制と、現状を問う。

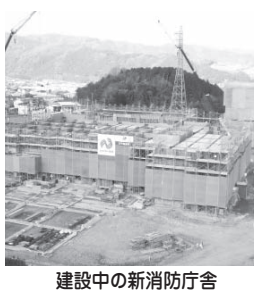
A 庁舎と防災拠点の入れによる精査で減額。市内業者の仕事確保に努める。防災無線は、拡声型整備を予定していたが、FM電波とメール配信に変更。ホームページでの災害情報発信にも取り組む。

三原 淳子

「消防庁舎整備事業」

Q 消防庁舎・防災拠点・地域防災無線整備事業で、総額3億5274万3千円減額の内容は何か。公共事業において、業者・労働者に適正な賃金と労働条件を確保するため、公契約条例が必要であり、下請けは市内業者への発注を指導せよ。防災無線では、市民へ迅速な情報提供を求め

A 新型インフルエンザワクチンの集団接種・助成などの体制は、県や医師会等と検討し現体制となった。感染症に対する危機管理体制の確立については努力を続ける。



建設中の新消防庁舎

可決した議案(第336回臨時会・第337回定例会)

- 報告第3号 専決処分した事件(平成21年度名張市一般会計補正予算(第5号))の承認について
- 議案第108号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第109号 市長及び副市長の給料並びに旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第110号 名張市保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第111号 名張市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第112号 名張市総合計画後期基本計画の策定について
- 議案第113号 平成21年度名張市一般会計補正予算(第6号)について
- 議案第114号 平成21年度名張市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第115号 平成21年度名張市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第116号 平成21年度名張市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第117号 平成21年度名張市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第118号 平成21年度名張市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第119号 平成21年度名張市病院事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第120号 平成21年度名張市水道事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第121号 財産の取得について
- 議案第122号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議員提出議案第7号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議員提出議案第8号 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について
- 議員提出議案第9号 緊急経済・雇用対策の早期実施を求める意見書の提出について

請願について

- 請願第4号 小規模修繕等契約希望者登録制度がより良く活用される為の請願書→不採択
- 請願第5号 住宅のリフォーム助成金制度創設の請願書→不採択



議会の日程(予定)

※日程を変更する場合があります。

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。一般質問はケーブルテレビで放映されます。

2月23日 開会	5日 予算特別委員会
26日 一般質問	8日 総務企画委員会
3月1日 一般質問	9日 教育民生委員会
2日 一般質問	10日 産業建設委員会
3日 補正予算	15日 採決
4日 当初予算	

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、なばり市議会だよりをご愛読いただき、心より感謝を申し上げます。

地方分権・地方主権がさげられる中、地方議会の果たす役割と責務は増大しております。そのような中で、名張市議会での議論や質疑の状況を分かりやすく正確に皆様へお伝えできるよう、本年も更なる努力をしてまいり所存です。

なばり市議会だよりへの皆様方のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。新年のごあいさつといたします。

議会広報特別委員会委員長 福田 博行

議員名	浦崎	森脇	細矢	三原	高田	田合	吉住	石井	永岡	川合	福田	中川	松崎	梶田	榎本	橋本隆	橋本マ	柳生	山下
議案番号																			
議案第108号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
議案第110号	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第111号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第112号	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第113号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第114号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第115号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第116号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第117号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第118号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第119号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第120号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

表決が分かれた案件
○は賛成した議員 ×は賛成しなかった議員
議長 藤島幸子は採決に加わりません。



訂正

前回発行(11月1日、No.54)のなばり市議会だよりの内容に一部誤りがあり、訂正してお詫びします。

P4、松崎 勉議員「農集排について」

正:平成22年度より調査

誤:平成21年度より調査

P5、4段目 写真のタイトルについて

正:建設中の赤目南部処理場

誤:建設中の赤目北部処理場

インターネットで会議録を見ることができます

名張市議会、名張市議会事務局(市役所ホームページ内)のホームページからアクセスできます。

☞ <http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/>

おことわり

議員のお祝い金などの寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会(議会事務局 ☎ 63-7835)